

出産費用の値上げラッシュ 費用総額は50万円以上!

(NHK NEWS WEBの記事より)

出産祝い金を考える



「出産育児一時金」が引き上げられましたが

公的医療保険から給付される「出産育児一時金」が、4月から42万円から50万円に引き上げられました。しかし、多くの病院が3~5万円、出産費用を値上げし、「一時金増額の意味がない」との声も。出産費用は年々上昇し、全国平均は48万円。地域によっては「10~20万円の自己負担」になるところもあることが伝えられています。

病院の状況は

- ・毎年1千万単位でかかる医療機器の設備更新。
- ・電気代や物価の高騰などで経費はこの10年で倍増。赤字に転じる年も。
- ・やむなく出産育児一時金が増額された4月から5万円の値上げに踏み切った。
- ・コロナ禍や少子化の加速で経営的な体力が持たず、閉院する医療機関も。

専門家の指摘は

- ・今までの制度のあり方や支援の方法を見直す必要がある。
- ・「病気やけがではない」ので公的な保険は適用されないが検討が必要。
- ・出産は子育ての『入り口』。その後の子育て支援がなければ、少子化が反転することは期待できない。

国、他企業の
動きに合わせ

JR東日本も出産祝い金20万円支給新設

でも、JR東京総合病院だけ5万円割引は不公平感が!?

「出産祝い金の新設」は評価できるものの

**どこで出産しても
「公平な対応」にすべきでは!**